

2015年12月20日

第87号

発行: 日本臨床検査技師連盟  
発行責任者: 直井 芳文  
編集担当者: 相山 広美

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆ 連盟ニュース ◆◆

今号の主な内容

- ◇「宮島よしふみ君を励ます会」が開催される
- ◇日本臨床検査技師連盟選挙対策本部「宮島よしふみ後援会」発足にあたって

12月10日

## 「宮島よしふみ君を励ます会」が開催される

東京・国会議事堂近くの海運会館において、「宮島よしふみ君を励ます会」のパーティーが12月10日（木）夕刻、盛大に開催されました。総勢603名の方々にお越しいただき、会場に入り切れないほど盛況でありました。参加いただいた方々は、各界を代表する多くの方で「宮島よしふみ君」を励まし、応援するためにご参集いただきました。衷心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

当日、塩崎厚生労働大臣を始め、自民党幹事長代行の細田 博之先生、衛藤 征士郎先生、後藤 茂之先生、鈴木 俊一先生、宮下 一郎先生、三ツ林 裕巳先生、新谷 正義先生、小松 裕先生、参議院議員の伊達 忠一先生、古川 俊治先生方々より、激励と応援のご挨拶を賜りました。また、渡辺 清明先生の乾杯のご発声を頂き、パーティーが華々しく開催されました。更に宮島よしふみ会長のご出身である長野県下伊那文泰阜村の後援会からお越しいただき、激励の力強いお言葉をいただきました。

我々、「宮島よしふみ君」を支える後援会の立場として、パーティーの間緊張する思いと目標を達成しなければならぬという決意が強く感じ、「頑張ろう」という気持ちが湧き上がりました。更に「宮島よしふみ君」を国政の場に送り出し、国民のためのみならず、臨床検査技師および関連業界が発展のため、我々の代表者である彼を盛り上げていくことが大切だと痛感しました。この思いを全国の会員と共に共有しながらこの選挙に邁進したいと考えています。

宮島よしふみ氏が、臨床検査に対する意気込みと将来に向けた取り組みについて、自分が持っている信念を力いっぱい訴え、参議院選挙に臨む姿勢を高らかに宣言しました。彼の政治信条の一部を以下にご披露したいと存じます。

私、宮島よしふみが取り組みたいこととして、

1. 臨床検査を通じて国民の健康の保持や増進を図ること。
2. 病院から在宅までの地域医療の供給体制の確立を果たしていくこと。
3. 医療関連業種との連携と持続的な発展について考えていくこと。

皆様方のご理解とご協力によって、一人でも多くの方々が後援会にご入会頂き、私を支援していただきますようお願い申し上げます。

これから、皆様方のお近くに日本臨床衛生検査技師会の代表者としてお目にかかるかと存じますので、更なるお声がけをお願い申し上げます。よろしくようお願い申し上げます。



自民党参議院比例区(全国区)支部長

## 宮島よしふみ君を励ます会



(後列) 細田博之先生、伊達忠一先生はじめそうそうたる国会議員のご来賓に囲まれ、(前列中央) 渡辺 清明先生のご発声で乾杯



塩崎厚生労働大臣のご挨拶



江川 洋後援会長のご挨拶

## 日本臨床検査技師連盟選挙対策本部「宮島よしふみ後援会」発足にあたって

本部長 富永博夫

日本臨床検査技師連盟選挙対策本部「宮島よしふみ後援会」が11月に発足をしました。

この会の目的は、臨床検査技師が日常的に抱えている問題を掘り起こし、政治活動をとおして、臨床検査業務の安定性と未来への発展性を求めことにあります。今や社会問題化している2025年の「超高齢化」に向けて、政府を始め各業界ではその取り組みについて議論がなされています。特に医療業界においては、社会保障費が増大の一途をたどっている現状から脱却するための施策が行われており、在宅医療に目を向けた医療政策が推進されています。それらの施策として、地域包括医療や地域支援センターなどが挙げられています。その中で、我々臨床検査技師が目標とするものとして、臨床検査を通じて国民の健康の保持や増進を図り、病院から在宅までの地域医療の供給体制の確立を果たし、医療関連業種との連携と持続的な発展について考えていく必要があります。

これらの目標を推進して行くためには、臨床検査技師が制度の見直しや業務認証、更なる業務拡大など社会にしっかりと認知される行動を示すことにあり、技術・知識・知恵を遺憾なく活躍する場面を獲得する必要があります。そのためには、我々臨床検査技師の代表である日本臨床衛生検査技師会の会長を代弁者として、社会の表舞台に立たせる必要があります。

私、日本臨床検査技師連盟選挙対策本部「宮島よしふみ後援会」の本部長として、日本臨床衛生検査技師会会員と日本臨床検査技師連盟の会員が一丸となって、「宮島よしふみ後援会」の組織づくりに邁進していただき、1会員が最低4名の紹介者を頂き、最低20万の後援会員を募っていきたくと思っています。多くの後援会会員が立候補予定者の礎になり、力となります。是非とも後援会の入会申し込み等が参りましたら、早々に周りの人や家族・親戚に至るまであなたの声を掛けていただきますように、切にお願い申し上げます。申込書は各技師会事務所にありますのでお問い合わせください。